



夢に生きた人

Takeokadai High School
進路指導部 第4号(1, 2年用)
発行日 R7. 10. 16(木)

3年生(37期生)共通テスト出願

3年生 280 名が大学入学共通テスト(以下、共通テスト)に出願しました。今号では、共通テストについて学んでいきましょう。

Q1 共通テストの目的は？

A 大学への入学を志願する高校生等の基礎的な学習の到達度を判定することが目的です。

主に1, 2年次の学習内容から出題されます。
つまり、授業で学習していることが、共通テストの受験勉強です。

「予習⇒授業⇒復習⇒再復習」を実行し、1年後、2年後の志望校合格を勝ち取りましょう。

Q2 受験者数は？

A 昨年度の出願数は約 49.5 万人、国内最大の試験です。そのうち、現役生が約 86%を占めています。

Q3 武台生の出願率は？

A 毎年 90%以上の出願率です。

Q4 いつ実施されるの？

A 2026. 1. 17(土)・18(日)です。
例年 1 月中旬の土・日曜日の 2 日間、全国一斉に実施しています。

Q5 試験会場はどこ？

A 本校生徒は、鹿児島大学の郡元・桜ヶ丘・下荒田キャンパスのいずれかが会場として指定されることが多いです。

Q6 試験会場の様子は？

A 先輩方の体験談によると、広さは高校の教室の約 2 個分程度。本校講義室と同じ階段教室、長机で椅子が後ろの机に固定されているなど様々でした。また、トイレが混みあい大変だったとの報告もありました。

Q7 出題科目は？ ※裏面に時間割を掲載

A 国語・地理歴史・公民・数学・理科・外国語・情報の 7 教科 21 科目で構成され、この中から最大 9 科目を受験できます。

Q8 出題方式は？

A 全問マークシート方式です。共通テスト対策として、2 年次 2 月からマークシート方式の模試を複数回受験します。

共通テストの成績は、4 月中に希望者のみに通知されるため、1 月末の各大学への出願時には正確な成績はわかりません。そのため、自己採点結果をもとに出願する大学を決めます。

Q9 出題の傾向は？

A 旧センター試験では「知識・技能」を活用した問題が中心でしたが、共通テストでは「思考力・判断力・表現力」を発揮して解くことが求められる問題や出題形式の工夫がみられます。そのため、グラフ・地図・文章等、読み取る資料の分量が多いことが特徴です。

そして、授業における学習場面、日常生活の中から課題を発見して解決方法を構想する場面、資料やデータをもとに考察する場面など、学習過程を意識した場面設定(対話形式)が、教科・科目を問わず見られます。

公式や重要事項だけを暗記するだけの勉強では対応できない問題が出題されます。

総探を含め、普段の授業での学習活動が、問題解決の糸口になります。全てが受験勉強です。

裏面あり

Q10 現3年生(37期)が受験する共通テストの時間割は？

A 2日とも開始時刻は9時30分です。多くの受験生は、会場に8時すぎには到着しています。試験終了時刻は、第1日が18時20分、第2日は18時です。受験には、学力と体力が求められます。

試験日	出題教科	出題科目	試験時間
第1日	地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』（注1）	2科目選択 9:30～11:40（注2） 1科目選択 10:40～11:40
	国語	『国語』	13:00～14:30
	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	『英語』【リーディング】 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 【筆記】 15:20～16:40 『英語』【リスニング】 17:20～18:20（注3）
第2日	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／ 地学基礎』（注1） 『物理』『化学』『生物』『地学』	2科目選択 9:30～11:40（注2） 1科目選択 10:40～11:40
	数学①	『数学Ⅰ，数学A』『数学Ⅰ』	13:00～14:10
	数学②	『数学Ⅱ，数学B，数学C』	15:00～16:10
	情報	『情報Ⅰ』	17:00～18:00

（注1）『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合は、「地理総合」「歴史総合」「公共」の三つの出題範囲のうちから、必ず二つの出題範囲を選択解答する。

『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の四つの出題範囲のうちから、必ず二つの出題範囲を選択解答する。

（注2）地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行うが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は130分とする。

（注3）リスニングは、音声問題をうい30分間で解答を行う。解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え、試験時間は60分とする。

Q11 どの科目を受験すればよいの？

A 大学(学部・学科)により、合否判定に用いる共通テストの教科数や指定教科(科目)、配点等は異なります。国公立大学では多くの大学が6教科以上、私立大学の共通テスト利用方式では3教科(私立文系は英語、国語、地歴公民、私立理系は英語、数学、理科)が一般的です。指定教科(科目)も大学(学部・学科)により異なりますが、学部・学科の性質上、特定教科(科目)を必須とするケースもみられます。

科目選択時に注意しなければならない科目は、「英語以外の外国語」、「数学Ⅰ」です。これらを出題科目として指定しない大学が多くみられるためです。また、国公立大学の理系学部では、理科の「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」を認めていない大学が多くみられるほか、旧帝大などの難関国立大学を中心に地理歴史・公民の「地理総合／歴史総合／公共」を認めていない大学もあります。志望校(群)の科目設定状況や配点等は早めに確認しておきましょう。